

PC オーディオ特集にあたって

株式会社クリプトン オーディオ事業部

渡邊 勝

最近、「PC オーディオ」とか「ネットワークオーディオ」と呼ばれるオーディオが盛んになりつつあります。

デジタルオーディオの CD が 44.1kHz/16bit のフォーマットで、1982 年～昨年 2012 年で 30 周年を迎えました。これに対して最近のデジタル技術の進歩により、コンテンツホルダーのマスターはリニア PCM 音源として、ハイビット・ハイサンプリングの 96kHz/24bit ないしは 192kHz/24bit (又は 88.2kHz/24bit ないしは 176.4kHz/24bit) のハイレゾリューション (以降ハイレゾと呼ぶ) 化されています。

これらを、LINN RECORDS (イギリス) や HDtracks (アメリカ) などがハイレゾ音源のまま DRM なしで配信を始めました。特に LINN のネットワークプレーヤーの発売に伴い、このハイレゾ音源をパソコンや NAS (ネットワーク接続ストレージ) を使って DAC (デジタル/アナログコンバータ) を通してオーディオシステムで再生する PC オーディオが注目され始めました。このハイレゾ音源はレコード会社のマスターをほとんどそのまま再生することにより、オーディオマニアにとっては“夢の音源”として注目されるようになってきました。

株式会社クリプトンでは、2009 年 6 月から「HQM STORE」において国内で初めて全楽曲 DRM フリーでのハイレゾ音楽配信を開始しました。このことは、ネットワークオーディオや、PC と DAC を利用した PC オーディオの利用拡大へと発展させる契機となりました。

しかしながら、音楽再生をより高音質で聴きたい人達、俗にいう“オーディオマニア”層はオーディオ協会の調査でもネットワークや PC を利用してのオーディオに不慣れな方も多いため、“良い音は聞きたいが、PC やネットワークは苦手”という人達に CD 時代で使い慣れたパッケージ化、つまり NEXT CD を望む声が高まっています。

こういう事情から CD より記憶容量の大きいブルーレイディスクで、フォーマットも従来のままのハイレゾ音源のブルーレイディスク・オーディオを提唱するプロモーショングループが発足し、活動しています。

「PC オーディオ特集」として、オーディオ協会が普及を進めている PC 並びにネットワークオーディオ関連についてとハイレゾ音源について、それぞれ担当者によりご報告を致します。